



アナログレコードをデジタル保存して楽しむ

2. 現役アナログ派向けの中級編

レコードプレーヤーは持っているが、USBオーディオインターフェースが無いケース

USB接続が可能な 多機能フォノイコライザーDAC

フルテックの新ブランドADL (ALPHA DESIGN LABS)からフォノアンプ搭載、24bit/96kHzでの録音再生が可能なUSBオーディオインターフェースGT40 USB DACが発売された。

大きさは幅150mm×高さ57mm×奥行き111mm。バスパワーではなく別電源付きで、本格的ヘッドフォンアンプも搭載されているが、何よりの特徴はMMおよびMCカートリッジに対応のフォノイコライザー内蔵という点だろう。レコードプレーヤーはすでに持っているという人なら、おあつらえ向きの製品である。

取扱説明書を見るとOSはWindowsXP、Vista、MacOSに対応とあり、ここには掲載されていないが、Windows7もVistaとほとんど同じ画面で対応している。

今回は、私が愛用しているアナログターンテーブルのガラード401とダイナベクターのトーンアームDV-507、そして音のエジソン製の「Studio」というMCカートリッジからの録音を試みた。

まず、アナログプレーヤーからの出力をリアパネルのPhono/Line Inputに接続し、その右側の小さなスイッチでMCを選び、Output端子とプリアンプを接続する。この状態で、GT40のフロントパネルの左上にあるスイッチでPhono/Lineを選んでレコードをかけ、音が出ることを確認し、本体にあるボリュームは運動しているので、最大にした。オープンリールやカセットテープの音をアーカイブ化するには背面の小さな切り替えスイッチをLineにすればOKだ。

さて本題に入ろう、今回はGT40と愛用のノートPC Let's note CF-Y2 (OSはWindowsXP)を使ってレコードの音を録音することにした。接続すると自動的に認識するが、一応コントロールパネルから、サウンドとオーディオのプロパティを選び、ADL GT40 USB DACが認識されていることを確認し、音量もフルに上げておいた。

「とても使いやすい無料ソフトウェア "Sound Engine Free"

録音するには録音をするアプリケー

ションが必要だ。そこで今回は「Sound Engine Free」というフリーソフトを使用した。Sound Engine Freeで検索をかければすぐに見つかるので、ダウンロードして使ってみて欲しい。

Sound Engine Freeは、初めてでも迷うことなく操作ができる、とても使いやすいアプリケーションだった。起動後、録音タブをクリックして、録音デバイスにADL GT40 USB DACが出ていることを確認し、ビット数やサンプリング周波数などを設定をした。

「自動録音開始」と「自動録音終了」の二つにチェックを入れておくと、レコードに針を下ろした瞬間に録音が始まり、針を上げた瞬間に録音が停止する。これは実に便利だった。録音音量のスライダーを移動して録音レベルを調整する。テープでのエアチェック同様、この設定で録音結果が左右されるので、何回か試験的に録音をして最適なレベルを見つけよう。録音レベルが決まれば本番だ。針先にホコリが溜まってしまう場合は針先をよく観察し、一曲ずつホコリを除去して録音すると良いだろう。



「Sound Engine Play」画面。録音終了後、再生タブをクリックすると再生が始まる。真ん中あたりに針を落としたときのノイズがある、その右側はサーフェースノイズなので、この部分を選択して削除すればノイズはなくなる。



「Sound Engine Recording」画面。Sound Engine Freeの録音状態、自動録音開始と自動録音終了にチェックを入れておくと便利。録音中の波形は表示されない。

「自動録音終了」にチェックを入れておけば、針を上げた瞬間に録音が止まり、再生タブをクリックすれば自動的に再生が始まる。あまりの簡単さに「これで本当に録音出来ているのだろうか」と思うてしまうほどだった。

録音開始時や針を上げたときのノイズを無くしたければ、再生画面からその部分を削除すればよい。マウスで範囲を指定して右クリックして削除を選べばOKだ。Sound Engine Freeの場合、WAVファイルでの保存になるので、名前をつけて保存しよう。また、ここでは紹介しきれない機能が沢山あるので、是非試してみたい。

GT40本体のセレクターをPhono/LineからUSBに切り替えて録音した音をきいてみると、先ほどレコードを直接再生した音とほとんど変化がない。定価5万円ほどのADL GT40 USB DACとフリーの録音アプリケーション、そしてちょっと古めのLet's noteでアナログディスクやテープをこんなに簡単にアーカイブ化することができる。しかも24bit/96kHzの高音質だから素晴らしい。

Sound Engine Free

作者:Cycle of 5th
<http://www.cycleof5th.com/products/soundengine/>

ADL(フルテック)

GT40 USB DAC

フォノイコライザー内蔵オーディオインターフェース
 ¥41,790



MCカートリッジにも対応する高性能フォノアンプを内蔵し、アナログディスクやカセットデッキ、AM/FMチューナーなどのアナログ信号を高音質でパソコンに取り込むことができる、96kHz/24ビットまで対応したUSBオーディオインターフェース。オーディオ用に開発された高性能オペアンプや音質を吟味したコンデンサーを使用し、本格的なヘッドフォンアンプまで搭載。もちろん、PC内に保存した音源の再生も可能なので、PCとUSBケーブルで接続するだけで簡単にPCオーディオが楽しめる。



背面にある小さな切り替えスイッチでMC、MM、LINEの切り替えができる。

SPECIFICATION

- 形式: USB & アナログ入出力オーディオインターフェース ●接続方式: USB(B端子) ●アナログ入出力: RCA各1系統 ●サンプリング周波数: オーディオアプリケーションに依存で最大24bit/96kHz ●周波数特性: 20Hz~20kHz (40Hz: +0.5dB/15kHz: -0.5dB) ライン出力 ●SN比: -90dB (A-wtd)/ライン出力 ●ライン出力レベル: 1Vrms ●ライン入力レベル: MC 0.5mV/MM 5mV/LINE 1V ●ヘッドホン出力レベル: 80mW (32ohm) MAX ●電源: 外部ACアダプター (9V 0.5A) ●外形寸法: 150W×57H×111Dmm ●重量: 約785g
- カタログ請求先: 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-7-1 第5花田ビル3F フルテック(株) カタログ請求「PCオーディオfan」係 TEL.03-5437-0281